

		作成日	令和 8 年 8 月 2 8 日
リーディングプロジェクト	地域のつながりを活かしたまちづくり	ゼネラルマネージャー	市民部長
未来(あす)を紡ぐミーティング(ATM)メンバー	市民部長、福祉部長、こども未来部長、健康推進部長		
幹事会メンバー	市民部次長、地域づくり推進課長、地域づくり推進課主幹、山口まちづくりセンター長、柳瀬まちづくりセンター長、企画総務課長、高齢者支援課長、地域福祉センター長、こども支援課長、青少年課長、健康づくり支援課長、危機管理室長、防犯対策室長		

【リーディングプロジェクトの方向性】

「地域でできることは地域で解決する」という自立性を支援するため、各地区にある「まちづくりセンター」が地域の拠点施設となり、地域の関係団体同士がつながる「地域づくり協議会」などの運営を支援してきました。

また、高齢者や障害者、子育て世帯等が住み慣れた地域で人との絆により支え合い、生きがいを持ち、誰もがその人らしい生活が送れる地域づくりを推進しています。

今後も、地域のことを「他人事」ではなく「我が事」と考える住民主体の地域づくりを支援し、身近な地域に広がるネットワークづくり、住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための取組の推進、地域の課題を解決するための体制づくりを推進する必要があります。

引き続き、地域ネットワークである「地域づくり協議会」への支援をはじめ、まちづくりセンターを中心とした全庁的な支援体制を整え、地域コミュニティの充実を図るとともに、多様な主体が連携を図り、地域の人と人との支え合う活動を促進します。

【令和 7 年度に実施した事業】

≪「主な取り組み」にあたる事業≫

1-1-1 地域コミュニティの充実										
地域づくり支援事業（松井）									市民部松井まちづくりセンター	
貢献度	B: やや貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（富岡）									市民部富岡まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（小手指）									市民部小手指まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（山口）									市民部山口まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（吾妻）									市民部吾妻まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（柳瀬）									市民部柳瀬まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（三ヶ島）									市民部三ヶ島まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（新所沢）									市民部新所沢まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	
地域づくり支援事業（新所沢東）									市民部新所沢東まちづくりセンター	
貢献度	A: 貢献している	必要性	B: 変わらない	効率性	B: 余地はある	進捗状況	B: 計画通り	方向性	Ⅱ: 継続	

地域づくり支援事業（所沢）										市民部所沢まちづくりセンター	
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続		
地域づくり支援事業（並木）										市民部並木まちづくりセンター	
貢献度	B：やや貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
所沢市民フェスティバル開催支援事業										市民部地域づくり推進課	
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
1-2-2 身近な地域に広がるネットワークづくり											
所沢市社会福祉協議会補助金交付事業										福祉部地域福祉センター	
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
民生委員・児童委員及び協議会活動推進事業										福祉部地域福祉センター	
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
1-4-2 住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための											
認知症施策推進事業										福祉部高齢者支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅰ：事業規模拡大		
地域包括支援センター運営事業										福祉部高齢者支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	A：計画以上	方向性	Ⅱ：継続		
1-4-3 地域の課題を解決するための体制づくり											
生活支援体制整備事業										福祉部高齢者支援課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続		

《「関連する取り組み」にあたる事業》

2-1-3 地域における子育て支援の充実											
地域子育て支援拠点事業									こども未来部こども支援課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	C：計画通りでない	方向性	Ⅱ：継続		
ファミリーサポート事業									こども未来部こども支援課		
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
子ども広場設置・整備費補助金									こども未来部青少年課		
貢献度	B：やや貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		
3-1-1 主体的な健康づくりの推進											
地域保健推進事業									健康推進部健康づくり支援課		
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	B：余地はある	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続		

《寄与する事業》

1-6-1 地域防災体制の強化										
総合防災訓練事業									危機管理室	
貢献度	A：貢献している	必要性	A：高まっている	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	
5-5-2 外国人市民が暮らしやすい環境づくり										
行政資料の多言語化推進事業									経営企画部企画総務課	
貢献度	A：貢献している	必要性	B：変わらない	効率性	A：余地はない	進捗状況	B：計画通り	方向性	Ⅱ：継続	

【評価及び今後の方針】

主な取り組み

● 1-1-1 地域コミュニティの充実

- 令和7年度においても、「地域づくり協議会」等とともに地域活動を周知しながらウォークラリーや地域マップ作りなど地域コミュニティの充実につながる様々な取組を実施した。また、防災や防犯、環境など、地域における課題の解決に向けた取組も行われている。さらに、こどもを対象とするニュースポーツや自然体験などの企画も開催され、若い世代の方にも参加してもらえるよう創意工夫を凝らした事業が展開された。
- まちづくりセンターでは、デジタル格差解消の一環として、学生ボランティアと協働してスマートフォンを活用した講座が広く開催された。また、地域のイベント情報等をより若い世代や子育て世代に届けることにより、地域への関心と愛着を深めてもらうことを目的に、まちづくりセンターインスタグラムを活用して広く周知を行った。今後も引き続きまちづくりセンターを中心に、地域の方々が安心して活動できるよう団体の運営や活動の相談に応じるなど、地域課題解決のための自発的な活動を支援することにより、地域コミュニティの充実を図っていく。
- 第46回所沢市民フェスティバルでは2日間とも雨天であったにもかかわらず約15万人の来場者、449団体の出展があった。多くの市民が出展者やボランティアとして参加しているほか、市内企業や市民団体、行政団体がともに一つのイベントを作り上げており、地域コミュニティの充実に今後も大きく寄与していくものと期待される。

● 1-2-2 身近な地域に広がるネットワークづくり

- 地域福祉の中核を担う所沢市社会福祉協議会の運営を引き続き支援したことで、市内11地区に配置したコミュニティソーシャルワーカー（CSW）が地域に出向き、市民の困りごとの発見・把握や、関係機関・地域の居場所との連携・つなぐ支援を展開、また、個別の困りごとを地域内で解決できる仕組み作りなどに取り組むことができた。
- 民生委員等の活動支援につながるよう『広報ところざわ』にて民生委員の特集号を配信し、認知度向上に努めた。

● 1-4-2 住み慣れた自宅や地域で暮らし続けるための取組の推進

- 介護予防・生活支援サービス事業では、高齢者の心身機能の維持・向上のため、安定的にサービスを提供できる体制の維持に努めた。
- 地域包括支援センター運営事業では、地域ケア運営会議等により、事業の充実に向けた事例研究や検討を行い事業効果の向上に努めた。地域包括支援センターにおいては、介護予防教室等を実施し、参加者のニーズや地域の健康課題に即した多様な内容を取り上げ、介護予防の普及啓発を行った。また、事業等の実施が効果的・安定的になされたか評価を行い、必要な改善を進め、体制の充実化に向けた検討を行った。
- 認知症施策推進事業では、認知症について正しく理解し、地域で支え合えるよう、認知症サポーター養成講座を52回開催し、市内の学生を含む、2,201人が受講した。認知症地域支援推進員を中心に開催した「オレンジウィーク」では、認知症本人の作品や認知症関連施設の紹介、本人や家族のメッセージ、オレンジガーデニングプロジェクトの写真等を展示したほか、本人交流会や家族会、「地域でみまもり支え合い事業（ところんおかえりQR）」の体験会等のイベントを開催し、啓発やネットワークの構築を図った。
- 在宅医療・介護連携推進事業では、定期的な医療介護連携会議の開催、在宅療養に係るパンフレットや、市民向け講演会等を通じて、連携基盤整備の推進に努めた。

● 1-4-3 地域の課題を解決するための体制づくり

- 生活支援体制整備事業では、第1層（市全域）及び第2層（日常生活圏域）生活支援コーディネーターを中心に、把握した地域支援情報を活用し、日常生活圏域（14圏域）ごとの地域の課題や資源の情報共有を図り、買い物支援など具体的な施策につながり、活動の継続が図られている。
- 高齢者の情報格差への対応や地域のつながりづくりのためにスマホサポーターを養成し、スマホ教室等の開催を推進したほか、地域の課題解決に寄与する団体等の立ち上げ支援や、担い手の養成、地域関係者のネットワークの構築など、仲間づくり、地域づくりの活動を支援した。

関連する取り組み

● 2-1-3 地域における子育て支援の充実

- ・ 地域子育て支援拠点事業については、昨年度に引き続き14中学校区（全27施設：県内上位の設置数）にて事業を実施した。地域子育て支援センターを通じて、妊産婦を含めた子育て中の親子が気軽に集い、子育ての不安・悩みを相談できる場を提供し、関係機関と連携しながら、親子同士の出会いや子育てにかかる不安感等の解消に努めた。引き続き、地域の子育て支援拠点の場を確保し、こどもの健やかな成長を支援していくことで、地域の子育て支援機能の充実を図る。
- ・ ファミリーサポート事業については、県内他市と比較しても本市の利用件数は13,693件と多く、子育て家庭が仕事と育児を両立するための支援につながっている。預かりや送迎など、様々な保育ニーズに対応するため、援助会員の確保に向け、養成講習会の周知方法を工夫していく。また、より多くの子育て家庭に本事業を利用してもらうために、事業周知に努めていく。
- ・ 令和7年度の子ども広場に対する補助金の申請件数は3件であった。補助金は、すべり台の撤去・設置、木の伐採、ベンチ・遊具の塗装に利用され、こどもたちが安全に憩い、楽しめる広場を整備することができた。また、自治会等が子ども広場の維持・管理を行うことで、地域のことを「我が事」と考える地域づくりの支援につながった。補助を継続することで、こどもが地域で安全に遊べる場所を提供していく。

● 3-1-1 主体的な健康づくりの推進

- ・ 地域保健推進事業については、各地区の担当が地域の現状や課題を把握し、地域特性に合わせて保健活動を進めた。具体的には、生活習慣等の周知や健康教室、講演会、リハビリ事業、健康相談のほか、まちづくりセンター等、各地域でも健康教室を開催し、地域の実情に合った保健活動を展開した。市民との協働による取組としては、健康情報を家族、友人など周囲に広める「みんなで健康マイスター」の養成や、食を中心として健康づくりを進める「食生活改善推進員」の活動支援を行った。今後も、地域の現状や課題を把握し関係機関との連携を図りながら、市民に向けた積極的な取組を継続し、市民自らが健康保持・増進に積極的に取り組めるよう支援を行う。

寄与する事業

● 1-6-1 地域防災体制の強化

- ・ 総合防災訓練では災害の被害を最小限に抑えることや市民の防災意識の高揚を図ることを目的に、より実践的な内容となるよう見直しを図りながら災害対策本部設置訓練や各地区自主防災活動訓練等を実施している。各地区自主防災活動訓練では、訓練内容を発災直後の避難から避難所開設までの一連の手順を学ぶ訓練へ見直すとともに、地域防災の要となる各地区自主防災組織へ交付金を交付するなどし、地域での自主的な訓練の実施を促しており、今後も継続的な支援を図っていく。

● 5-5-2 外国人市民が暮らしやすい環境づくり

- ・ 外国人市民が暮らしやすい環境づくりの一環として、行政資料の多言語化について引き続き各所属に対して働きかけていくとともに市ホームページ等での情報発信の充実を図る。

【総評】

地域づくり協議会等との協働による各種事業やイベントのほか、市民フェスティバル等の地域コミュニティの充実を図る取組等により、こどもから高齢者まで世代を超えた交流を促進しながら、地域のつながりを活かしたまちづくりを推進してきた。

福祉の分野では、地域福祉の担い手である社会福祉協議会や民生委員・児童委員協議会とも情報共有を図りながら地域ネットワークの強化に努めるとともに、住み慣れた自宅で暮らし続けるための取組として、認知症施策や生活支援体制整備事業、在宅医療・介護連携推進事業等も継続している。

また、ファミリーサポート事業やこどもが安全に遊べる場所の提供など、地域における子育て支援の充実を図ってきたほか、地域特性に合わせた保健活動等、関連した取組についても着実に推進してきている。

さらには、各地区で行われている自主防災活動訓練では、より実践的な訓練となるように見直しを図り、地域防災力の強化を図ってきたほか、外国人市民が暮らしやすい環境づくりとして、行政資料の多言語化も進めてきた。

引き続き、様々な事業や取組を通じて、地域コミュニティの充実や地域ネットワークの強化に努めるとともに、こどもから高齢者、障害者、外国人など誰もが、地域のことを「他人事」ではなく「我が事」と考えることができるような住民主体の取組を支援していくことで、地域のつながりを活かしたまちづくりを進めていく。

【SDGsへの貢献】

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤を作ろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任 つかう責任

13 気候変動に具体的な対策を

14 海の豊かさを守ろう

15 陸の豊かさを守ろう

16 平和と公正をすべての人に

17 パートナリーシップで目標を達成しよう